



卓話

「忘年家族会」

報告 廣本 慶一 会員

米山会長の乾杯の後、会食懇談、新入会員の紹介。そして、会場に琴の音色が響き渡り、そして静かだが力強い歌声。

瑠璃座公演の始まりだ。

続いて響くのは、親睦男性合唱団の「歓喜のうた」琴の音色がベートーベンの曲に不思議によく合う。

こういう組合せもあるのだなと歌いながらも感心してしまう。

廣嶋会員のバイオリンと琴の演奏も、それぞれの良さを引出し、すばらしかった。

そして、その後も琴、三弦、尺八の演奏に魅了され、普段あまり聞くことのない「和」の音楽を十分堪能できた時間だった。



今回の忘年家族会は、武田会員の発案による瑠璃座公演とちょっと贅沢なお料理で、会員そしてご家族の皆様楽しんでいただけたと思う。

交換留学生のドロシーの着物姿も、あでやかで周囲を華やかに彩っていた。

日本の伝統文化に触れる企画ということでは、ドロシーだけではなく我々会員も、あらためてその良さに触れることができたのではないのでしょうか。

当日までは坂本親睦委員長を中心に親睦委員が準備を重ね、開会直前まで打合せが続き、やっとこぎつけた忘年家族会。大成功だった。

当日の司会の横山会員、藤原会員ご苦労様。

そして、瑠璃座公演の発案者である武田会員、とてもすばらしい企画をありがとう。

おそらく、この企画を発案した時から公演が終わるまで心休まることがなかったのではないだろうか。

残念なのは、時間の関係で武田会員の琴の演奏が聞けなかったことだ。

何時か時間をつくって聞いてみたい。

